

東京かがみいし会通信

飛澤勇美
さん
(神奈川県)



私は笠石上町出身です。終戦後6・3制が施行された第1期生です。小学校の一部を借りて新生中学1年に入学した頃、現在の場所に木造の校舎が建築されました。雑木林の中で、グラウンドもなく、毎日校庭をつくるために放課後は木の根を掘り起こす作業をしていました。当時私が一番思い出に残っているのは、昭和23年の校舎落成記念のマラソン大会に参加したことです。男子は10km、女子は5kmの距離を走りましたが、私はこの大会をきっかけにマラソンが好きになりました。

須賀川高校入学後、昭和26年に第1回青森東京駅伝大会があり、福島県代表として出場いたしました。当時の国道4号線は大部分が砂利道で、鏡石の国道沿いには、松並木の大木があったことを今でも思い出します。

高校卒業後は商人になろうと仙台屋呉服店に就職し6年間故郷で過ごした後、昭和34年に上京、電気会社に就職しました。当時は、泉岳寺前に間借りし会社に通勤しておりました。自宅から東京タワーが近かったので遊びに行き、展望台上り大きな町並に感嘆したものです。上京して半世紀、東京も高層ビルが建築されて町並みも様変わりしております。平成の大合併で地方自治を運営される方々の責任も大きくなっており大変だと思います。

東京かがみいし会は、故郷の同級生と共に出席してからのつきあいです。最近は中学校の同級生と月1回、会食会や、年一回旅行をし“わいわい”楽しくしております。我が家は子どもたちが成長、独立したので、現在は妻と二人で年金生活です。古稀を過ぎると、故郷での楽しい思い出が走馬燈の様に浮かんできます。故郷があることは心強く生活の糧となっております。故郷、鏡石町の発展とみなさまのご多幸をお祈り申し上げます。



まちの名所・旧跡

笠地藏

町の笠石地区に、町の指定文化財に登録されている笠地藏があります。

これは、笠地藏尊として昔から地域住民に親しまれてきた笠付きの碑のことです。現在も、4月と8月に縁日が行われ、多くの人でにぎわいます。昭和49年に町の指定文化財に登録され、現在はお堂の中に安置されています。

なお、笠のある板碑は、国内でも大変珍しいものと言われています。



今月の表紙

今月の表紙は、7月4日(火)午前9時から鳥見山多目的広場で行われた、町ゴルフ協会の夏季大会の一コマ。

大会には、約50人が参加。個人別に打数を競い合いました。参加したみなさんは、日頃の練習の成果を發揮し、元氣ハツラツとしたプレーを繰り広げていました。